

木下 正 議員

放課後子ども総合プランの取り組み

問 本プランの具体的な推進の状況はどうか。

答 タグラグビー教室等を実施中である放課後子ども教室は、来年度3校増やし9校で実施予定、今後全ての学校に設置する取り組みが必要、目標達成に向けて鋭意努力したい。

避難地、避難所、救護所への取り組み

問 救護所のインフラ、自家発電、蓄電池、水源の確保などの対策は万全か。

答 救護所は緊急輸送路沿いに設置、橋梁の耐震化、車両の通行を確保、非常用給水タンク等を設置、4カ所に蓄電設備付太陽光発電システムを整備、他3カ所には蓄電池はなく投光器付発電機等に対応したい。



デマンドタクシー

廃止バス路線、今後の対策は

問 持続可能な地域公共交通の形成のために地域の実情を把握した上で、地域の方々の間で協議・調整が必要である。協議会を立ち上げる予定があるか。

答 自主運行バス、デマンドタクシー、地域の協働バスなどをミックスして、より効果的になるように地域の皆さまとよく協議を進めていきたい。

竹野 昇 議員

駅北口市有地貸与は市民にマイナス

問 現在有効活用され、市財政にも貢献している市有地の貸与は、市民にとりマイナスでは。

答 複合施設建設による袋井駅北のにぎわいや、袋井駅南北の交流拠点の創出がなされることを考慮すると、本市にとってプラスの要素が多いと考えている。

中学生を後押しする事業化

問 中学生未来会議で、中学生たちが修学旅行先で袋井を宣伝したい旨の発言や政策提案があったが、それを後押しする色々なグッズを市で用意できないか。

答 市がそういうグッズを用意して、生徒が自主的にやってくださるのでしたら、そのことは意義があると思う。



袋井駅前駐車場

原発災害 広域避難計画策定

問 避難経路やスクリーニングの場所、要支援者の輸送手段確保、避難場所の確定ができない場合、策定の公表は遅らせてよいのでは。

答 避難経路の選定と、避難先市町との受け入れ自治会のマッチングが完了した段階で、袋井市原子力災害広域避難計画の公表をしていきたい。